

保健体育科 1 学年 評価計画

内容のまとめり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【体育分野】 ・体づくり運動 ・器械運動 ・陸上競技 ・水泳 ・球技 ・武道 ・ダンス ・体育理論	目標		
	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。
	評価規準		
	・各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 ・各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	・運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している。 ・自己の課題や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	評価方法		
定期考査、ワークシート、観察、技能テスト	定期考査、ワークシート、観察	ワークシート、観察	
【保健分野】 ・健康な生活と疾病の予防 ・心身の機能の発達と心の健康	目標		
	個人の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
	評価規準		
	・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、個人生活を中心として科学的に理解している。 ・基本的な技能を身に付けている。	・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断している。 ・それらを他者に伝えている。	・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に積極的に取り組もうとしている。
	評価方法		
定期考査、ワークシート、観察	定期考査、ワークシート、観察	ワークシート、観察	